

ほんべつ 議会だより

No.66

平成25年8月1日発行



未来の議員さんたち

5月14日 本別カトリック幼稚園（議場見学）



第2回定例会

平成25年度一般会計他6会計の補正予算等を可決

平成25年第2回定例会は6月4日に開会し、一般質問のほか一般会計他6会計の補正予算、本別町役場出張所設置条例の一部改正などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

条 例

- ・ 本別町役場出張所設置条例の一部改正
- ・ 本別町手数料徴収条例の一部改正
- （戸籍事務の電算化に伴う条例改正）

答

今年度は3事業者で予定どおり実施することになっています。北電とも協議済みでスタートしており、本町の場合、変電所内の受入能力の可能な部分で3力所ということになります。

一般会計補正

メガソーラー建設

問 メガソーラー建設予定地の支障木処理の手数料が補正になっていて、予定通り進んでいるのか。

また、北電の40万キロワット限度の話は聞くが、本町に影響はないか。



太陽の丘メガソーラー建設予定地

平成25年度各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主 な 内 容
一 般 会 計	(3,398万6千円)	新製品開発に伴う調査・研究事業 商店街活用型中心市街地活性化プロジェクト事業 新産業ビジネス適正調査事業 (緊急雇用創出推進事業) (臨時会)
	(1,705万3千円) 71億770万円	人事異動に伴う人件費調整 家畜ふん尿散布機導入支援(道の経営体育成支援事業) 商工活性化センター雨漏り屋根修繕 白樺、柳などの木材の有効活用研究 農産物ブランドづくり推進事業経費 白糠町における物産店参加経費 消費者被害防止啓発グッズ購入(道の消費者活性化事業) 仙小体育館ステージ暗幕修繕 (定例会)
特 別 会 計	(94万1千円) 12億2,713万9千円	国民健康保険 電算処理システム修正
	(15万6千円) 1億1,504万4千円	後期高齢者医療 制度啓発用記事掲載費用 保険料還付金(死亡件数増による)
	(146万7千円) 8億1,338万3千円	介護保険 人事異動に伴う人件費調整
	(△121万9千円) 2億8,134万9千円	介護サービス事業 人事異動に伴う人件費調整
	(1,288万2千円) 1億7,346万9千円	簡易水道 勇足簡水 橋梁防護柵補修工事に伴う添架管布設替工事
病院事業会計	(78万5千円) 15億1,519万5千円	医師着任に伴う移転旅費 全国自治体病院への医師紹介手数料

※第2回臨時会含む

平成25年6月24日に任期満了となる
固定資産評価審査委員会委員に

山下 芳 久 氏
(勇足東4)

の再任に同意しました。

議会の傍聴に
お越しください

議場前のスペースを、傍聴者の方が気軽に休憩していただけるような場所にいたしました。是非、一度傍聴にお越しください。



開設された脳神経外科

第2回臨時会

開催日 4月26日

脳神経外科の専門外来開設

本別町国民健康保険病院事業の設置及び管理に関する条例の一部改正に係る質疑

問 今回の脳神経外科開設にあたり、患者数の見込みは。

数の見込みは。

答 現在、北斗病院に通院されている患者数は、約300人で、延べ数で680人の状況です。

300人のうち年に1回検診を受診される方が約180人、投薬で受診される方が約120人と聞いています。

□その他条例改正

- ・本別町税条例の一部改正
- ・本別町過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正
- ・本別町国民健康保険税条例の一部改正

一般会計補正予算

新製品開発に伴う調査、研究事業ほか2事業

国の平成24年度繰越予算による緊急雇用創出事業に係る補正予算の質疑

問 ①今回の業務委託料補正の3事業は、どのような内容か。

- ② 具体的などのくらいの雇用があるか。
- ③ 3点目の事業を詳しく説明を。

答 ① 1点目の新製品開発に伴う調査研究

事業は、本別産の小豆の付加価値を高めるため、消費者のニーズ調査、市場調査、販路拡大などの調査業務を取り組みます。

2点目の商店街活用型中心市街地活性化プロジェクト事業は、空き店舗対策や後継者問題など、諸課題について、中心市街地におけるソフト事業を中心に、商工会、NPO、町の3者で協議し取り組みます。



本別特産のあずき

3点目の新産業ビジネス適正調査事業は、野菜含また有機農作物、薬用作物の栽培研究を、帯広畜産大学と連携し取り組む事業で、先進地視察や加工含めた市場調査、また、人材育成、ワークショップを開催する予定です。

② 1点目は3人、2点目は1人、3点目は3人の雇用です。

③ 3点目の事業については、有機の小麦や野菜関係の試験栽培を考えています。が、畜大と協議しながら、本町に合った作物の研究を行っていきます。また、薬用作物は、国内栽培への移行があることから、本町においても栽培が適しているか、反収調査も含め研究し、検討していきます。

議会用語の解説

《行政視察研修》

行政視察研修は、議員の資質向上を目的に、3委員会（総務・産業厚生・議会運営）が毎年1回道内の先進的な市町村を訪問します。

担当の方から説明を受け、本別町との相違点や取り入れるべき事なのか、質疑を通し研修してきます。

内容や時期は、各委員会が決めます。日程は概ね2泊3日程度で、訪問する市町村は2～3市町村です。

一般質問

3名の議員から6問



行政

急激な人口減少に対する対策は

答 企業誘致等を含め雇用を確保します



大住啓一議員

計画を策定するにあたり想定人口がない中での策定ですが、町長の考え方を伺います。

大住議員 本町の人口は、昭和34年の1万8,858人をピークに減少を続け現在は、8,010人（7月1日町広報）となっています。

人口減少は、国全体としても大きな問題であり、とりわけ、本町における若い方々の減少対策は、将来の本別町を考えたとき、最優先課題であると認識しています。

十勝管内でも、人口減少がいちじるしい町であることから、どのような対策を講じるのか。更に北海道糖業の工場、明治の工場や車関係、農業関係の工場等、現在ある企業に對しての考えは。

また、第6次の本別町総合



明治本別工場

高橋町長 総合計画の主要課題であります、新たな仕事づくりの創造など積極的取り組みを進めます。また、今あるものをしっかりと守り、雇用の確保、企業誘致等を実行し、町を発展させていきます。

想定人口は、審議委員の皆さんも、国の施策の中で厳しいものがあるとの判断から、あえて何名でどうするということではありませんでした。

高橋町長 ①本町の基幹産業であります農林業に関わる企業誘致を積極的に推進することが重要でありまして、すでに決定している一社の企業誘致をスタートして、今後も一次産業を活用した企業誘致などにより雇用の拡大に努力し

人口減対策に先輩OBのみなさんの経験を活用しては

答 先輩OBのみなさんのお話を聞きながら連携を図っていきます



高橋利勝議員

ていきます。

②若い世代の方と経験豊かな先輩OBのみなさんが、しっかりと連携していけばと思っています。

高橋議員 本町の人口が今後7,000人台に推移するのは時間の問題だと思います。そこで人口減対策について以下2点伺います。

①人口減対策の一翼を担う商工業対策の見直しは。

②人口減対策に役場職員OB、農協職員OB、民間出身OBを活用する考えはないか。

高橋議員 行政として人口減対策を取り組んでいく時に、先程述べたOBのみなさんのノウハウを借りながら取り組んではと思うが。

高橋町長 先輩OBの方のお話を聞かせていただきながら連携を図っていきます。



工業団地の造成

ドッグランとは

犬の飼い主が管理の上、隔離されたスペースの中で引き綱をはずし自由に運動させることができる場所や施設。全国に有料、無料の施設が設置されています。



暮らし

旧営林署跡地の利活用に町民アイデアを まちづくりの要所、意見聞きながら利活用進めます



阿保静夫議員

阿保議員 用地利活用のアイデアについて見解を伺います。

①市街地内で、電線がない空間を生かし、子どもたちがのびのびと遊べる環境です。手作り凧揚げ、紙飛行機、ミッチェルとの関係ではブーメ

ラン大会などの企画などは。

②「ドッグラン」（犬の運動場）を作ってはどうか。管内では4カ所くらいありますが、最近では自治体の住民サービスとして設置する例が増えているとのこと。観光にも結びついていくようです。

③最低でもトイレと水道の整備は必要では。

高橋町長 公益性の高い土地であり、まちづくりの要所の一つです。

①当面、誰もが自由に使えるよう供用開始します。民間活力によるイベント展開にも期待しています。

②衛生面、管理面などが大きな問題ですが、引き続き検討していく余地があります。

③水、トイレは築堤にあるものを当面は利用していただくこととします。

町の各種助成金に商品券の活用は 現状の事業では難しいが、純然たる補助なら可能です

阿保議員 高齢者住宅の改修や太陽光発電設置への助成など行っていますが、敬老祝いの金のように一部を商品券による助成を行う考えはないか伺います。

管内自治体では、住宅リフォームに対する助成に100%商品券で支給するという例が2件あり、その効果は幅広く波及するという一方で、町内業者からは歓迎されているというものです。

本町でも支援策を図る上で波及効果を考えることも必要だと思えます。

高橋町長 地元業者への波及効果があることは理解しますが、使える事業と使えない事業があると思います。

（敬老祝い金など業者への）支出が伴わない純然たる補助なら活用は可能ですが、現状では難しいということです。

まだまだ検討の余地があると考えます。



各種助成に商品券の活用も



有効活用が検討されている旧営林署跡地

成人の風疹予防接種に助成を

答 広域での対策が必要で、国、道に支援を要請したい

阿保議員 管内1町が、成人の予防接種に助成を行うとの報道ですが、本町においても助成措置を検討すべきと考えますが、見解を伺います。

本年流行している成人の風疹は全国で前年同期の3倍、7,540人(5月現在)の罹患者数とのことです。風疹は妊娠中の女性がかかると、難聴や心疾患、発達遅れなど先天性風疹症候群の赤ちゃんが生まれる可能性があるとのこと。

本町の「健康管理センターだより」5月号でも注意報を発令し、予防接種を呼びかけました。本町の状況、予防等についても伺います。

高橋町長 保健師さんの話では、水疱瘡やおたふくかぜなどを優先する方が現実的のことです。また、風疹は広範囲での流行ということで、北海道あるいは十勝管内といっ

た広域での対策が必要だと考えます。今後、国や道に財政支援を要請していきたい。現在、本町での罹患者は少なく、予防接種した人は平成24年で、約10人です。



麻疹風疹混合ワクチン

水道事業会計、公共下水道特別会計の現状は

答 経営状況は厳しいです。来年度消費増税となれば早急に検討が必要です

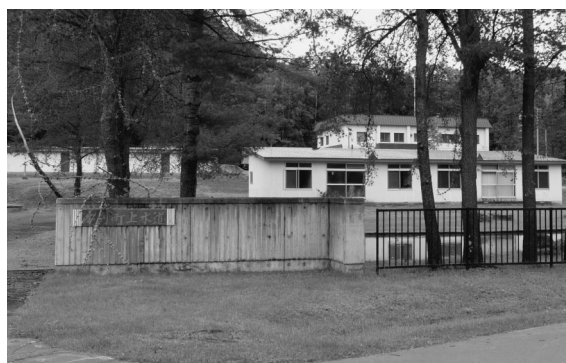
高橋議員 水道料金、下水道料について以下2点お伺いします。

① 行政報告で平成24年度の水道事業会計、公共下水道特別会計の決算見込みが報告されましたが、人口減などにより取り巻く環境が厳しいと思います。現状をどのように受け止めているか伺います。

② 業務用の水道料金は基本料金4,088円、下水道料金1,247円で最低でも5,335円となります。

規模の小さな業者では月の使用量が1から2立方メートルのところがあり、料金が割高という声があります。考慮すべきと思うが。

高橋町長 ① 給水人口の減少、世帯構成の少子高齢化などにより使用量が減っていることから経営状況は大変厳しい状況にあります。次回の水道料



本別町浄水場

金の見直しは平成28年度ですが、平成26年に消費税が増税されると早急な検討が必要になってきます。

② 今のままでいいのか問題提起された点については、使用料等審議会の中で議論していただくよう考えています。

第2回定例会では4件の意見書が提出され原案可決されました。意見書の要旨は、次のとおりです。
【要旨掲載】

地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 地方財政計画、地方交付税総額の決定に当たっては、国の政策方針に基づき一方的に決するのではなく、国と地方で十分な協議のもと決定すること。

2. 社会保障分野の人材確保、農林水産業の再興、環境対策などの財政需要を的確に把握し、増大する地域の財政需要に見合う地方財政計画、地方交付税総額の拡大を図ること。

提出者 高橋利勝



札幌航空交通管制部の存続・充実を求める意見書

国土交通省は、北海道では重要な機関である札幌航空交通管制を、代替機関を残すことなく廃止に向けて検討している。道民の安全・安心な航空交通を確保するためには、管制部の存続・充実が必要である。

①北海道での航空行政の枠組みを堅持し、札幌航空交通管制部を存続させること。②広大な北海道の航空行政を充実させるために、国の出先機関である札幌航空交通管制部を充実させること。

提出者 高橋利勝



憲法第96条の改正に反対する意見書

安倍首相は、憲法第96条の改正に言及しました。憲法第96条の発議要件を、現行の総議員の3分の2以上から過半数に変更し、憲法改正をやりやすくし、第9条などを改正しようとの意図があるのは明白です。

今、改憲論者からも「憲法改正のハードルを下げるべきでない」との見解が出されています。

よって首相、政府において、憲法第96条を改正して発議要件を緩和することには強く反対します。

提出者 阿保静夫



道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

道教委は、「新たな高校教育に関する指針2006」にもとづき、毎年度「公立高等学校配置計画」を決定し、再編・統合を行ってきましたが、対象となった高校では、子どもの進学を機に地元を離れる保護者が現れ、過疎化を加速させています。

新たな高校配置計画を創り出すために次の事項を要望します。

1. 指針は抜本的に見直すこと。
2. 配置計画は一方的な策定は行わないこと。
3. 「遠距離通学費補助制度」の年限撤廃。
4. 希望するすべての子どもが地元高校に通うための検討。

提出者 黒山久男



札幌コンベンションセンターにて

6月27日、札幌市において町村議会議員研修会が開催され、全道各町村から約1,800名が集まり、本町からも12名の議員が参加しました。
慶應義塾大学教授の片山善博氏、政治アナリストの伊藤惇夫氏の講演を聞き、議会運営などについて研鑽を深めました。

議員研修会に参加

行政報告

4月26日第2回臨時会及び6月4日第2回定例会において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

第2回臨時会

脳神経外科外来の開設について

帯広北斗病院と医師派遣について協議を進めていましたが、本年5月から、北斗病院脳神経外科医師により、月1回、午後診療をお願いすることで、合意しました。町民の利便性向上につながるものと考えています。

詳しい診療日程等については、町広報等で周知いたします。

第2回定例会

24年度決算見込み

一般会計の決算見込みは、歳入70億1,813万5千円で、歳出が69億3,597万2千円となる見込みです。

す。

国民健康保険など6特別会計を合わせた歳入決算見込み総額は32億7,980万8千円で、歳出は31億4,085万9千円となる見込みです。

病院事業会計の決算見込みは、収入が12億6,288万8千円、支出が13億5,485万2千円となる見込みで、平成24年度末の未処理欠損金は16億4,915万8千円となる見込みです。

町税等の収納決算見込み

24年度分町税の収納済額は約8億8,180万円で、は約8億8,180万円で、98.8%の収納率、前年度比0.3ポイント増。国保税は約2億7,552万円で95.7%の収納率、前年度比1.5ポイントの増となりましたが、滞納繰越分を合わせた収納率は、町税で0.3ポイント、国保税で0.8ポイントの減となりました。

旧営林署苗畑跡地の一般開放について

平成20年10月に取得し、土地の整備を順次進めて来たところですが、本年7月1日から一般開放することとしました。

利用の形態としては、普通財産として管理し、誰でもが公平に安心して安全に使える施設となるように運用していきます。具体的には、一般使用については、自由に使用していただくこととしますが、イベント等の占用使用については、既存の使用料条例等に沿って、有償で貸し出しを行うこととします。

供用開始にあたっては、町広報による周知をはじめ案内や注意喚起の看板などを設置して利用者の利便性の確保に努めていきます。今後の活用計画については、当面は緑地として使いますが、「旧営林署跡地利用検討会議」において、町民の皆さまをはじめ、関係団体の皆さまの意見を頂きながら、引き続き検討をしていきます。



町民に開放される旧営林署跡地

救急搬送の対応について

帯広市内の関係医療機関、本別町国民健康保険病院、本別町及び本別消防署と協議を進めた結果、7月1日より、脳卒中及び循環器系疾患が疑われる場合のみ、帯広市内の専門医療機関の医師に傷病者の受入照会の確認後に直接搬送することになりました。

ただし、それ以外の疾患、緊急性が低い場合や原因疾患が推定されない場合、かかりつけ病院が帯広市の医療機関であるということだけでは、直接、帯広市へ搬

送依頼されても搬送することとは出来ませんので、従来どおり本別町国民健康保険病院へ搬送することとしています。

尚、産科の救急搬送につきましては、これまでどおり「妊婦エントリネット119（妊婦情報事前登録届出）」により管内の出産予定病院への直接搬送を行っています。

国保病院の常勤医師確保について

常勤医師1名の確保により、6月から休診となっていました、内科金曜日午後外来、外科水曜日午後及び金曜日午後外来を再開するなど、新たな診療体制で業務を進めています。



迫口太朗医師

委員会云しポート

総務

常任委員会

調査日／平成25年4月25日

○旧営林署苗畑跡地の現状と利活用について

1. 経過

平成20年9月、公益性の高い土地と判断し、北海道森林管理局から取得。

(1) 土地の概要

所在 中川郡本別町南3丁目16番地1外2筆

筆

地目 雑種地

面積 58,769.59㎡

取得金額 4千3百万円

条件等 北海道森林管理局と紳士協定の中で概ね

10年間は「緑地」として

利用していくこととして

います。

(2) 土地の整備状況

・平成20年度

建物12棟、防風林、立木

等の撤去

・平成21年度～平成23年度

盛土整地緑地化（平成23年度）完了

2. 土地の維持管理

平成24年度から月4回程度草刈を実施（5月から11月）（経費 50万5千円）

3. 検討組織の設置

(1) 旧営林署跡地利用検討会議設置 3回開催

(2) 公有地（遊休地）利用対策検討会議 4回開催

4. 今後の利活用

当面の利用は、平成25年度よりレクリエーション、各種イベント利用できるように使用方法や使用料などについて、「旧営林署跡地利用検討会議」等で検討中です。利用方法等が決まり次第、町広報等で周知予定。（くらしの情報紙かけはし7月1日号に掲載）

将来の利用については、公共性、公益性の高い土地であり、公共施設など有効活用を図るため、引き続き活用方法について検討。

まとめ

新たに町民による利活用の対策会議を設置し、行政

の組織と並行して協議、検討するのの一つの方法とされています。

紳士協定で概ね10年は緑地として利用とあります。が、10年にこだわらない早めの利用検討を考えるべきだと思います。



将来の有効活用を

産業厚生

常任委員会

調査日／平成25年4月22日

○人口減に伴う商工業の動向と今後の対応について

1. 本別町の人口、商工業の変遷

本別町の人口は、昭和34年の18,858人をピークに年々減少し、平成25年2月末日の住民基本台帳人口は、8,019人となっています。

商業（商店数）では、昭

和41年、294軒、従業者数1,222人から、平成19年には112軒、従業者数553人、また、工業では、昭和45年、42事業所、従業者数942人から、平成22年には12事業所、従業者数310人といずれも減少しています。

2. 人口減に伴う商工業の動向

人口減に伴い消費購買力の減少は、地域経済に直接的な縮小を招くことや、インターネット通信販売など消費者ニーズの多様化や高度化から、間接的な影響もあることが推測されます。

3. 具体的な中期の方向性及び施策概要

各種支援制度の充実を図り、機能的で魅力ある商店街づくりを目指すため、次のとおり施策等が示されています。

4. 今後の対応

・ 中期的な方向性として

① 農産物を活用した付加価値を高める取り組み

② ソーシャルビジネスの取り組み

③ 林産資源を活用した関係企業の育成、誘致

④ 高速道路網を活用した観光・商工振興

・ 商工業振興のための施策概要

⑤ 観光振興・特産品開発の取り組み

⑥ 企業立地、企業誘致の取り組み

⑦ 起業家支援

⑧ 商工業者への直接的な支援

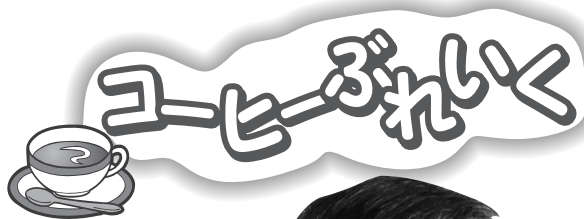
まとめ

人口減の中で、商工業活動はかなり困難を抱えていると考えます。加えて、雇用の面でもそれぞれの店舗、事業所でも従業員が減ってきています。地元で就職が困難というのが大きな課題です。

現在、示されている中長期的な方向性では若い人々の芽が育ってきていると感じますので、それらの人々が地域を巻き込んで活性化が進めていければと思います。



活性化が求められる商工業



もつと女性議員と 若い議員が必要では



栄町 白石聖二さん

白石さんは今回、教育委員会の義経教室の生徒（17名出席）として傍聴したとのこと。
議場に入ってまず感じたことは、「議員がこんなに少ないのかなど。それに、もつと女性議員と若い議員が必要だな」と。
議会に対する御意見を伺うと「町政の場で、議員同士が、意見を交わすような場があってもよいのではないか、また、若者たちが、町政に対して意見を言うような場を作っていただければ」と。

この日の人口減対策の質問には大いに関心があり、行政全般にわたる問題であり難しい課題だなと思ったそうです。
白石さんは明治乳業で働き、63歳で退職し、現在は中央公民館の土・日の管理人や、少年補導委員、地域ボランティア等をされています。音楽関係で、おびひろ十勝音楽作家協会で創作をしたり、また、昔は親父バンドの活動も行っていたそうです。
現在、夢中になっている

ことは、十勝にゆかりのある音楽家の足跡研究で、実は本別町にもゆかりのある方がおり、「本別町歌」や「本別小唄」を作詞された吉川静夫さん（戦前、本別町美蘭別に教員として10年ほど在住していた）について、当時の数少ない教え子からの聞き取りや、関係者との座談会を行ったりと、資料収集に力を注いでいらしゃいます。
この話を語りはじめたら情熱的で、その思いが私たちの心にドンドンと伝わってきました。

議会日誌

〔 5 月 〕



- 8日 十勝活性化推進期成会文教福祉委員会（帯広市）
- 17日 ボランティア活動（ゴミ拾い）
- 23日 十勝活性化推進期成会定期総会（帯広市）
- 29日 議会運営委員会

〔 6 月 〕



- 4日 第2回定例会開会、議員協議会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会、林活議連役員会
- 5日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
- 7日 議会運営委員会
- 11日 本会議（一般質問）、議会広報特別委員会
- 12日 本会議（議案審議）、林活議連総会
- 22日 東京本別会（東京都）
- 23日 札幌本別会（札幌市）
- 25日 池北三町行政事務組合議会（足寄町）
- 27日 道議長会議員研修会（札幌市）

〔 7 月 〕



- 3日 議会広報特別委員会
- 8日 議員協議会
- 12日 議会広報特別委員会
- 18日 議会広報特別委員会
- 22日 十勝圏複合事務組合議会（帯広市）
- 23日 議会運営委員会行政視察研修（豊浦町）
- 24日 議会運営委員会行政視察研修（白老町）
- 29日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会夏季要望（札幌市）
- 30日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会夏季要望（東京都）

10月定例会は 1日から予定しています

（通常は9月定例会ですが、本年は10月に開催されます。）